



鳥取大学工学部附属

ものづくり教育実践センター

Innovation Center for Engineering Education, Tottori University

2019年度学生プロジェクト支援事業・募集要項

ものづくり教育実践センターでは、学生が主体となって自ら企画し、積極的に取り組むプロジェクト活動を施設・設備、技術指導、材料費の面でサポートします。支援対象活動の形態としては「グループプロジェクト」と「独自プロジェクト」がありますので、該当する形態の支援事業に応募して下さい。応募にあたってはこのドキュメントを良く確認し、条件やルールを守って活動に取り組むようにして下さい。

支援対象

鳥取大学に籍を置く学生が主体の、ものづくりを伴うプロジェクト活動およびグループ活動が対象です。ここで「ものづくりを伴う活動」は必ずしも機械工作や電子工作などの狭義のものづくり活動を意味するのではなく、ソフトウェア開発やサービス開発など、幅広い創造的な活動や問題解決活動を含む広義のものづくり活動を対象とします。応募したい活動が対象となるかどうか分からない場合は、センターの教職員までお問い合わせ下さい。

支援対象となる活動には下記のA～Cの区分があり、それぞれ応募方法や審査方法が異なります。それぞれの活動に該当する形態で応募して下さい。

A. グループプロジェクト

特定のテーマや分野に沿ったものづくり活動に取り組むグループを支援します。年度ごとの単位で支援予算を決定し、学生主体の運営体制のもと、コンテスト・競技会・展示会等への参加や勉強会・ワークショップの開催など、定期的・継続的な活動に取り組みます。基本的には年度はじめの特定の期間のみ募集を行います。年度途中の応募への対応や、臨時の募集を行う場合もあります。

B. 独自プロジェクト(学生提案型)

1人もしくは少人数で特定のゴールに向けたプロジェクト活動に取り組みます。達成目標、計画、スコープを明確にし、定期的な評価を行います。支援予算は年間の単位ではなく、活動のフェーズ・進捗および経費の必要性に応じた適宜決定します。

C. 独自プロジェクト(メンバ募集型)

ものづくり教育実践センターが学内や地域企業・機関との共同のもとにプロジェクトを企画し、活動に取り組む学生を募集します。実社会の問題解決に焦点を当てた、やりがいのあるプロジェクト活動にチャレンジする学生を求めます。メンバ募集はプロジェクトを企画するごとに随時行います。

支援内容

応募・審査を経て支援対象となったグループやプロジェクトには、下記の支援が提供されます。

■ 施設・設備・工具の利用

- 学生自主ものづくり工房やデザインスタジオなど、ものづくり活動に必要な施設・設備を利用することができます。
- 支援対象プロジェクトのメンバは、事前の申請に基いてものづくり工房およびデザインスタジオの時間外利用や休日利用が可能となります。安全管理の都合上、支援対象プロジェクトのメンバでない人は、時間外や休日における工作設備の利用ができません。
- 活動に必要な物品等を収納するために、別途指定する収納スペースやプロジェクトルームを提供します。

■ 技術的支援

- 技術職員や教員による技術的アドバイスを提供します。
- センターが実施する講習会や特別講座を優先的に受講することができます。
- 機械工作や電子工作などの工作技術だけでなく、設計手法やプロジェクトマネジメント手法など、プロジェクト活動に必要なスキル・ノウハウを対象とします。

■ 経費支援

- 活動に必要な材料や機材を購入する費用のうち一部を支援します。
- 経費申請に際しては、別途指定するルールを必ず守るようにして下さい。

支援条件・応募条件

下記の事項を満たすことのできるグループやプロジェクトのみが支援に応募することができます。ここに記載する支援内容は適宜更新される場合があります。更新が通知された際には必ず確認するようにして下さい。

- 向上意欲を持ち、学習という側面の意識を持ちながら活動に取り組むことができること。
 - 講義や、大学やセンターが企画・実施する講習会や講演会などのプログラムに積極的に参加し、スキルや能力を磨きながらプロジェクト活動に取り組むこと
 - ※「講義や教育プログラムを補完し、学習効果をより高くする」という位置づけることによって、初めて各グループの活動や独自プロジェクトの活動に対して校費から支出する支援を行うことができます。趣味やサークル活動という位置づけでは、支援することができません。
- [利用方法](#)に示すルールを順守し、マナーと安全に気を配りながら活動することができること。
- 報告、申請、記録などのルールを守ることができること
 - 利用報告
 - 休日利用申請
 - 3Dプリンタの出力記録
 - 物品の破損時の報告
 - 活動記録(写真など)や各種資料のNASへの格納
- センターからの要請に応じて、発表会や展示会、報告書等を通して活動成果を発表・報告することができること
 - 8/24(土)に広報センターにて学生プロジェクトの成果を発信する展示機会を調整しています。支援を受ける場合は、この展示会への参加・協力をお願いします。
 - ※大会等のスケジュールで出展が難しい場合は、個別に相談に乗ります。
- [別途指定する経費申請の使用ルール](#)を順守し、適切な経費申請と管理を行うことができること。
- [運営協力について](#) のドキュメントに記載してあることに沿って、ものづくり教育実践センターの事業と運営に協力すること。
- 条件を守れない場合、採択済のプロジェクトであっても支援を取り消すことがあります。
- (既存団体の継続申請時のみ)応募時のメンバー全員がICEE学生PJメンバーズページにユーザ登録済みであり、センターからの諸連絡を受けることができること。※新規団体の場合は、支援決定後に速やかにユーザ登録を行うことが条件となります
- 新メンバーが加入した際にはすみやかにメンバーズページへのユーザ登録を行うこと。

応募方法

A. グループプロジェクト

現在、2019度分第一次募集を実施しています。

募集期間

2019年 6月20日(木)まで

支援決定時期

2019年6月21日頃(申請書の再提出等がある場合は、個別にスケジュールが遅れる場合があります)

説明会

支援対象となったプロジェクトのメンバー向けに、施設利用ルールなどに関して案内する説明会を開催します。基本的にはプロジェクトメンバー全員が出席しなければならないので、代表者はプロジェクトメンバーに日程を周知しておいて下さい。

説明会:2019年6月20日(木) 18:15~19:15 @工学部21講義室 [案内ページ](#)

応募方法

[学生プロジェクト支援の案内ページ](#)からWord形式の申請書をダウンロードし、記入したファイルを準備した上で、同ページにリンクが貼ってある「応募フォーム」より必要事項と申請書ファイル(Wordファイルのまま)を送信して下さい。

B. 独自プロジェクト(学生提案型)

年間を通して応募が可能です。 [学生プロジェクト支援の案内ページ](#)からWord形式の申請書をダウンロードし、記入したファイルを準備した上で、同ページにリンクが貼ってある「応募フォーム」より必要事項と申請書ファイル(Wordファイルのまま)を送信して下さい。プロジェクトの期間は、最大でも1年間、通常は半年以内くらいを目処にして下さい。1年間よりも長い期間に取り組む予定のプロジェクトについては、その活動内容や達成目標をサブプロジェクトに分割し、その都度申請を行って下さい。

C. 独自プロジェクト(メンバ募集型)

メンバ募集期間に応募が可能です。現在の募集プロジェクトについては、 [学生プロジェクト支援の案内ページ](#)を参照して下さい。

問い合わせ

応募に際して何か不明なことがあれば、 [ICEE学生プロジェクトメンバーズサイト問合せフォーム](#)よりお問い合わせ下さい。